



三次中央会報

ロータリークラブ

2019-2020 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所/広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mrcr.server-shared.com

例会場/広島県三次市十日市南 1-10-1
三次グランドホテル
例会日/月曜日 12:30~13:30

会長 / 小根森 直子
幹事 / 井上 幸三

●2019~20年度 国際ロータリーのテーマ



●2019~2020年度 三次中央RCスローガン
仲間とつながり、
クラブに更なる輝きを

- 本日のプログラム 夜間例会/親睦委員会
- 次回例会日時 2020年4月6日(月) 12:30~
- 次回プログラム 花見例会/雑誌会報委員会

■第1292回例会記録

- 日時.....2020年3月2日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ロータリーソング「奉仕の理想」.....全員
- ゲスト紹介
株式会社赤名酒造 社長 三島崇暁様

■開会挨拶.....小根森会長

桃の節句

皆さん、こんにちは。

ゲストの赤名酒造社長、三島崇暁様、本日はお忙しい中をご足労頂き、誠に有り難うございます。後ほどの御講話をよろしく願いいたします。

今日は三島社長様をお迎えて、またちょうど、桃の節句が明日でございますので桃の花と、そして黄色い花はミモザを生けさせて頂きました。

3月8日はイタリアではミモザの日だそうです。この日は男性が愛する女性にミモザの花を贈る日だそうです。世の中が新型コロナウイルスで大変に混乱している昨今ですが桃の花もミモザも例年通り花屋さんに並んでいます。

桃の節句は女の子の無病息災を祈っての行事ですが桃の実が古事記のなかでイザナギが魔物に向かって投げつけ、退治するのに用いられたという

逸話から、魔除けの意味が生まれたようです。桃太郎が鬼退治をするのもその辺りから来ているようです。一本の桃の花やミモザでもほっと心が和みます。皆さんもご自宅に飾られてみてはいかがでしょうか。

さて、今日は例会前に臨時理事役員会を開き、新型コロナウイルス対策について話し合いました。その結果、次から3回の例会を休会と致します。次回の例会は3月30日の夜間例会となります。尚、新型コロナウイルスの状況次第では変更も有りますのでFAX等のお知らせにご注意ください。

今日は皆様のお手元に、うちの医院で配りました鼻(ふくろう)通信をお配りしました。食事で免疫力をつけることがどれほどの効果があるかは分かりませんが参考にして頂ければ幸いです。しばらくの間のお別れとなります。

今日もよろしくお願いいたします。



■小根森会長作



■幹事報告.....井上幸三幹事

- 新会員の推薦があがっております。異議のある方は一週間以内にお申し出下さい。
- IMの登録料がまだの方はお願い致します。全員登録となっております。
- 本日19時より理事役員会をグランドホテルで開催します。
- ロータリー情報委員会より、「ロータリーの友」3月号の読みどころを配布しております。
- ロータリーの友3月号、ガバナー月信、会長より梟通信を配布しております。

■石田会長エレクト.....次年度委員長発表

次年度の各委員長を発表いたします。(敬称略)
 会員増強・選考・職業分類委員長.....杉谷優治
 ロータリー情報委員長.....信国秀昭
 出席委員長.....野村明弘
 プログラム委員会.....箕田英紀
 雑誌会報委員長.....和田ひとみ
 広報委員長.....山口幸三
 親睦委員会.....大前治夫
 米山奨学会担当.....上田秀樹
 ロータリー財団担当.....中島清貴
 クラブ戦略委員長.....栗本清秀
 第1回次年度クラブ協議会を3月23日(月)19時より、むらたけにおいて開催します。(その後延期としました)

4月6日のお花見例会には、
 ぜひ短歌を読んでみましょう。
 五七五七七と、ご自分の思いを託してください。
 心情を詠むのが 短歌の醍醐味とのことです。

ひとを幸せにする さくらをめぐる
 ロータリアンの 友暖かし

スモモ花 みぞれ降る朝 それぞれの
 白き姿に 驚きし我

雑誌会報委員会委員長 安藤 仁

■出席報告.....大前委員長

●第1290回 2月10日

会員数	38名	Make-up	0名
欠席	4名	出席合計	34名
出席者うち男性出席	2名	出席率	94.44%

●第1292回 本日の出席は38名中30名です。

■SAA.....杉谷SAA

●会員誕生日・町里君、松本君



●今日ロータリーRCXで東京

ロータリーRCX今日田玉額 28,000円

■プログラム《ゲスト講演》.....プログラム委員会

今日は島根県飯南町の赤名酒造社長・三島崇暁(みしま・たかあき)さんをお迎えしています。
 三島さんは6年前に赤名酒造を引き継がれて、現在国内はもとより海外に目を向けられ東南アジアを中心に、特にタイにターゲットを絞り、バンコクに事務所を構えておられます。先週もタイ日本大使館開催の、天皇陛下誕生日祝賀レセプションに出席、出展してこられた所です。連日フェイスブックで、ご活躍を拝見していました。今日は、酒造りは勿論ですが、そうした楽しい話も聞けるとおもいます。
 それでは、短い時間ですがよろしくお願ひします。

中島諭プログラム委員長



赤名酒造紹介

地元の米と水でごまかしのきかない純米酒を製造

株式会社赤名酒造 代表取締役 三島 崇暁

赤名酒造の三島です。本日はこのような場にお招きいただき、ありがとうございます。

自己紹介をさせていただきます。島根県飯南町の出身でございます。昭和50年7月22日生まれ、44歳です。中学校までは地元におりました。三刀屋高校、東京農業大学農学部醸造学科を卒業しました。

職歴：広島三次ワイナリーに7年、東京の双日系食品商社に10年、その後、飯南町に帰ってきました。飯南町嘱託職員を1年半、その後現職です。

【会社概要】

創業 1929年12月

設立 2014年11月

資本金 1,200万円

役員 代表取締役 三島 崇暁
取締役 新澤 巖夫

従業員 3名(パート)

現在の事業内容

主業：清酒の製造販売。加工食品の輸出入。

その他：清酒の製造技術指導。新設蔵の設計支援。海外輸出セミナー講師(独)酒類総合研究所他業界団体等。

自治体、会社の海外進出支援。海外からの観光客誘致。

保有拠点：バンコク事務所

保有媒体：FACEBOOK ユーザー2万人
(内1万3千人がタイ人)
Twitterユーザー 1,200人



【沿革】

昭和4年 近隣三蔵が合併し、
赤名酒造合名会社設立

平成16年 赤来町が赤名酒造の不動産を取得。建物は「酒づくり交流館」と名称変更し
赤名酒造は醸造設備を借用し経営を存続。

平成26年 飯南町により酒蔵を全面改修。
三島崇暁が代表社員となる。

資本金60万円から1,200万円に増資。

合名会社を廃止し株式会社赤名酒造を設立。
株式分割し、三島崇暁が代表取締役社長に就任。

酒蔵を赤名酒造が家賃を支払い、使用することとなる。

全量純米酒を製造する酒蔵となる。

平成27年 タイへ輸出開始

平成29年 在タイ日本大使館より天皇誕生日レセプションへの出展要請を受ける。

平成30年 在タイ日本大使館より天皇誕生日レセプションへの出展要請を受ける。

(2回目)

令和2年 在タイ日本大使館より天皇誕生日レセプションへの出展要請を受ける。

(3回目)



2016年1月 新商品発表会 バンコクで開催

写真左から バンコクNo.1 料理社長、島根県商工労働部次長、在タイ日本国大使館一等書記官、山崎飯南町長、赤名酒造三島、山陰合同銀行専務

【赤名酒造とは】

- 1、1929年12月創業。2度の経営破綻の後、2014年11月設立の新しい会社。
施設整備は鳥根県飯南町が行い、赤名酒造が家賃を払い施設を使用する。第3セクターではない。独立企業。
2014年度 飯南町は一億二千万円をかけて施設を改修。鳥根県内一の衛生蔵となった。
2018年度 保健所より衛生施設表彰を受ける(対象500か所のうち2か所)
改修前は非常に古く、衛生に問題がありましたが、全面改修し、徹底的に衛生的な蔵にしました。
- 2、伝統技術と最新技術による独自の製造方法を確立。高い技術力が必要。
 - ・ごまかしのきかない全量純米酒としている。
 - ・杜氏の勘をデータ化し、全てマニュアル化。徹底的なデータ管理による製造方法を融合させた、独自の技術を保持。
- 3、地元鳥根県飯南町産米を積極的に使用。全量純米酒を製造。良い酒米が手に入る環境。酒米作りに情熱を持った契約農家との強い信頼関係で最高の酒米を入手できる。
良いものを作りたい熱い思いから時には熱く議論になることもある。



【酒質について】

赤名の水道水を使用。水源地に近く浄水場まで工場及び事業場排水は一切ない。良質な水の為、浄水場も簡易な水ろ過である。中硬水で、非常に発酵に適している。米の特徴をしっかりと出す純米酒の仕込みを行う。味わいの深い酒を作り出す。

米は飯南町で栽培されている米を使います。

・五百万石・佐香錦・神の舞・コシヒカリなどの米を使っています。

販売先は、自社直売(インターネット販売含む)、飯南町5店、松江市10店、三次市ゆめマートはなわ三次東様他5店、広島市6店、出雲市6店、タイ1店、東京3店、大阪3店他となっています。タイへは4年間で7,000本輸出しています。2017年9月にバンコク事務所開設しました。2019年7月には自費でタイ有名人を招聘、飯南町、鳥根県内、三次市内を観光PRしました。

また、令和元年度在タイ日本国大使館主催天皇誕生日レセプションに出展しました。通常は、外務省から他業界団体の推薦などをもとに要請があるのですが、赤名酒造は特例で在タイ日本国大使館から直接3度目の要請を受けました。

会場でも優遇され、マスコミにも取り上げられ、ヤフーニュースでもトップページでした。

【三次市へ提案】

三次市に提案したいのが、タイに三次市の特産品を売って、三次市に来てもらうということです。三次市を巻き込み飯南町、赤名酒造にタイ人がもっと多く来るようにしたいと思います。三次市はタイ人が飯南町に来る玄関!、タイ人は東京、大阪、京都には飽きたという方も多し。そういう人たちを引き込みたい。

タイの話題が出たら赤名酒造!という流れをつくりたいです。赤名酒造はタイとの交流で実績があります。自らPRしていかなければ、もし三次市、近隣自治体で話題が出た際に声がかからない。ぜひ、赤名酒造とタイはつながっているとお願いしたいのです。本日は、ありがとうございました。



■謝辞.....小根森会長
■点鐘.....小根森会長